

編集室

* 編集特別幹事をお引き受けしてからあっという間に2年がたち、もうすぐ任期満了です。この「編集室」の文章を書くのも今回が最後だと思います。「会誌とは何だろうか?」という疑問は結局余りよく分からないままでしたが、廣瀬編集特別幹事が3月号の「編集室」で「会誌は、論文誌と比べていわば「種をまく」役割を担っています」と書かれているのを見て、なるほどなぁと思いました。

* 今月号の特集「データを読み解く技術」はいかがでしたでしょうか? 「編集にあたって」でも書かせて頂いたように、日々収集・蓄積される大量のデータの利活用は、あらゆる分野で情報・システムの課題となっていますが、その最先端の研究は激しい競争の下で爆発的に多様化し発展し続けています。種まきの季節でもある春に、少しでもそうした多彩さと活力を感じて頂き、何かの種にし

て頂ければ幸いです。データを読み解く技術につきましては、引き続き、解説記事などでも取り上げてゆく予定です。

* 編集長をはじめ、編集理事、編集委員の方々、そして事務局の方々など、常にサポートして頂いた多くの方々のおかげをもちまして、いろいろと御迷惑をおかけしながらも、何とか2年間務めることができました。2月からは会誌編集委員会のネット会議化も試行中です。地方にいらっしゃる編集委員の方々も編集委員会に参加しやすくなりました。多くの方々の知恵を上手に集めて、会誌が一層楽しく役立つものになればと思います。2年間どうもありがとうございました。

(編集特別幹事 麻生英樹)

本会発行新刊案内

話し言葉対話を扱うための基礎

話し言葉対話の計算モデル

島津 明・中野幹生・堂坂浩二・川森雅仁 共著
A5判並製 定価(本体3,400円+税)

現在の形のコンピュータが世に登場して以来、コンピュータと対話する技術が研究され、文字言語による対話から音声言語による対話へと処理技術が発展してきた。更に、相づち、つなぎ語、言い直し、割込み発話などの特徴を持つ話し言葉で対話できることが期待される。話し言葉による対話をコンピュータが行おうとしたら、どのような問題があるのか、話し言葉対話にどのような性質があるのか、話し言葉対話はどのようなメカニズムにより説明できるのか、話し言葉対話を扱うために、どのような原理が分かっているのか、現状はどのような技術ができているのか、などについて、対話システムや言語理解に関心のある研究者、技術者、学生を念頭に、これまでの研究成果を踏まえ、基本的なことを紹介している。

《内容目次》話し言葉による対話の処理とは／話し言葉対話の処理のための基本概念／話し言葉の特徴／話し言葉対話の処理技術

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費別 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会